

## 新たな医療機関別の評価

- 特定機能病院の機能を適切に評価する観点から、新たな評価項目についてどのように考えるか。

### (評価の視点)

① 高度の医療の提供

(例)

- ・重症患者の受入れ実績 等

② 高度の医療技術の開発及び評価

(例)

- ・高度先進医療の実績 等

③ 高度の医療に関する研修

(例)

- ・指導医、研修医の数 等

④ その他

- 地域医療との連携と機能分担

(例)

- ・紹介率・逆紹介率、専門外来

- 救急体制

(例)

- ・救急患者の受入れ実績 等

(参考)

### 現行の医療機関別の評価

項目	点数	基準	届出医療機関数	入院医療費に占める割合
入院時医学管理加算	60点×14日	医師配置 入外比率比率：1.5以下	20	0.11%
紹介外来加算	140点×14日	紹介率：30%以上	80	1.19%
紹介外来特別加算	50点×14日	紹介率：30%以上 入外比率：1.5以下	20	0.08%
急性期入院加算	15点×14日	紹介率：30%以上 平均在院日数：17日以内 詳細な入院診療計画 診療録管理体制等	6	0.08%
急性期特定入院加算	60点×14日	急性期入院加算の基準 入外比率：1.5以下等	0	0.00%
診療録管理体制加算	30点入院初日	情報提供 中央病歴室、専任担当者 疾病分類 退院時要約等	48	0.01%

(注) 届出医療機関数は、平成14年12月現在

入院医療費に占める割合は、平成12年社会医療診療行為別調査に基づく